

2020年6月18日開催 JGS 宝石勉強会@ZoomMeeting

『CVD ダイヤモンドを深く知る』に参加して

岡本 大助 (JGS 会員)

昨今の宝石に対するマーケットの考え方など、宝石が天然と合成という大きな選択肢になってくると感じていました。そんな中、今後の合成宝石がどのように動いていくのか、また、生産の実際はどうなっているのか、大変興味を持っていました。

エシカル、フェアトレード、サステイナブル、こうした言葉がコモディティ化し、新たに事業、特にファッションの世界でビジネスを立ち上げるなら、こうした点を必ず含めるようにという言葉も聞きます。

その大きな提案として、合成宝石がビジネスとして大きくなってきました。特に映画ブラッドダイヤモンド以降、厳しい目を向けられていると感じます。また、主演のディカプリオ氏が参加している合成ダイヤモンドの会社も、大きく注目を受けています。そんな中、実際にラボで作られるには機材が必要であり、そうした機材や研究では日本が大きく世界をけん引していることなど、貴重な情報をいただけたことは、大変貴重な機会を得られたと思っています。

景気は設備投資で測られることもありますが、その機械が右肩上がりということは、今後さらなる需要があるということだと思います。また、欧米で合成ダイヤモンドの会社が多く立ち上がり、ビジネスが回っているという点で、人件費が高くても、それ以上に技術力が求められており、そのため欧米であってもビジネスになり得ているという点は、大変興味深く。それなら、日本は精密な機械技術、また材料となるガスなども、世界最高の純度で精製していること、また手先の器用さなど国民性を考えると、新しいビジネス、また産業として、可能性が大きくあるのではないかと、こうした点を情報発信していくことで、JGS としても、今後大きな役割を担える可能性を感じました。

一つの可能性、また今後発展していくであろう産業という点で、この度のセミナーは大変学ぶものが多いものとなりました。こうした貴重な機会を与えていただけたことに心から感謝するとともに、レポートとさせて頂きたいと思います。